



# Hyper S-Stage KIT 取扱説明書

商品番号 : 01-05-5142 59/138.3cc  
: 01-05-5151 56/124.6cc  
適応車種 : K L X 110  
フレーム番号: L X 110 A - 000001 ~  
: L X 110 A - A08133 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

## ご使用前に必ずお読み下さい

### ！使用燃料についてのご注意！

この製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

### ！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、CR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。その後に、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

### ！音鳴りについてのご注意！

この製品を取り付けると、シリンダの冷却ファンの共振による音鳴りが発生する場合があります。この場合はキット内のダンパをキットのシリンダに組み替えて対処して下さい。

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。この製品のシリンダは、ノーマルクランクケースの個体差により、干渉する場合があります。また、干渉する場合はノーマルクランクケースの修正を行う必要があります。ご注意ください。この製品の取り付けには上記適応車種にあったカワサキ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。取り付けの際には適切な工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やカワサキ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用的な専門店へご依頼されることをお勧め致します。商品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。キャブレターは、天候・気温・自然現象および車体差、キャブレターの個体差等によりセッティングを変更する必要があります。個々のエンジン、条件に合ったセッティングを行って下さい。なお、キャブレターは別紙の状態でご出荷しております。

**注意** 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。  
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。  
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

**警告** 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。  
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。  
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

### ネジについて

普通、ボルトとナットは反時計方向に回すとゆるみ、時計方向に回すと締まります。

ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。

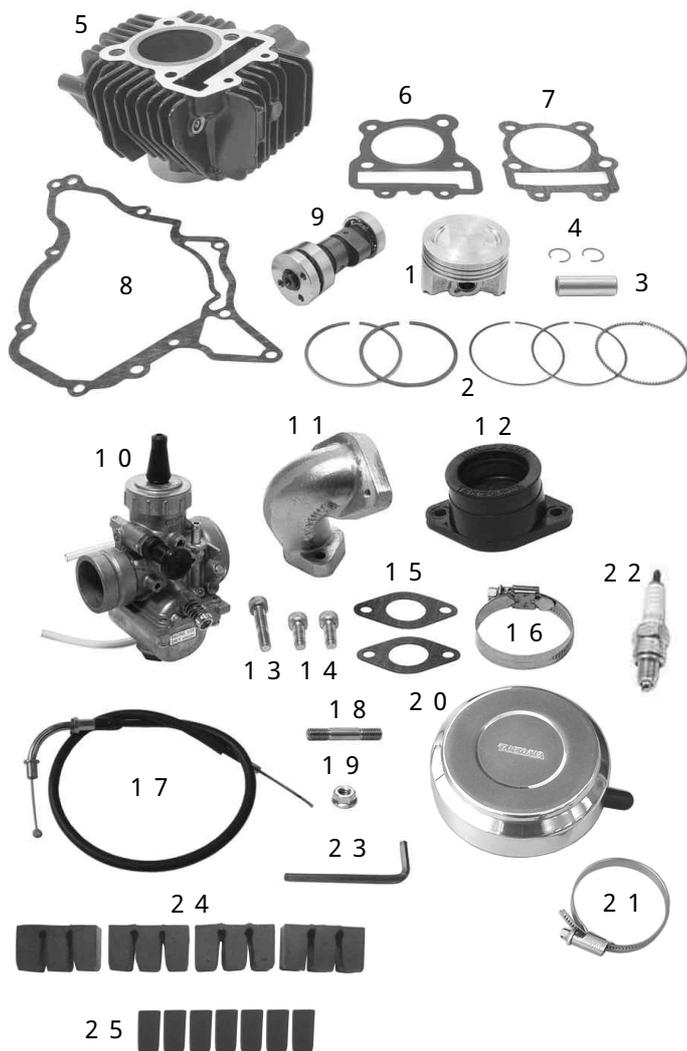
ネジをゆるめるということは、締まっている状態から3～4回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。

ネジを締めるということは、ネジをゆるまないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・ゆるまない数値で表したのが規定トルクです。

トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・ゆるまない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、当社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めるかと折れるのか、ゆるむのかは経験と勘でしか補えません。

工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

## ～ 商 品 内 容 ～



番号	部 品 名	個数
1	ピストン	1
2	ピストンリングセット	1
3	ピストンピン	1
4	ピストンピンサークリップ	2
5	シリンダー	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1
7	シリンダーガスケット	1
8	ジェネレーターガスケット	1
9	カムシャフト	1
10	キャブレターASSY.	1
11	インレットパイプ	1
12	インシュレーター	1
13	ソケットキャップスクリュー 6×30	1
14	ソケットキャップスクリュー 6×15	2
15	インレットパイプガスケット	2
16	インシュレーターバンド	1
17	スロットルケーブルCOMP.	1
18	スタッドボルト	1
19	フランジナット 6mm	1
20	エアフィルターCOMP.	1
21	フィルターバンド	1
22	スパークプラグ(NGK CR8HSA)	1
23	Lレンチ 5mm	1
24	シリンダーダンパー A	4
25	シリンダーダンパー B	7

メインジェット	# 190
パイロットジェット	# 22.5
ジェットニードル	5E75
クリップポジション	3段目
スロットルバルブ	# 1.5
エアスクリーオーブニング	1回転±1/4

## ～ 取 り 付 け 要 領 ～

水平で安全な場所で車両を安定させる。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行うこと。

### 取り外し

フューエルコックをOFFにする。ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していくようにする。

取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのかわかるように保管する。



### 外装部品の取り外し

3本のスクリーンを取り外し、右シラウドを取り外す。



2本のスクリーンを取り外し、シートカウルを取り外す。



### キャブレターの取り外し

配線2本の接続を外す。キャブレタートップを取り外し、スロットルバルブを抜き取る。



チョークケーブルの接続を外す。



クランプを取り外す。チューブクランプを取り外し、フューエルホースの接続を外す。エアクリーナダクトのクランプスクリーンを緩める。

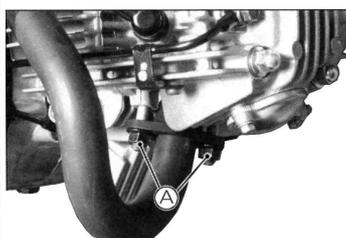


マニホールドの2本のボルトを取り外し、エアクリーナダクトからキャブレターを取り外す。



### エキゾーストマフラーの取り外し

エンジンガードを取り外す。エキゾーストパイプホルダナット2個を取り外す。



マフラー取り付けボルト1本を取り外し、マフラーを取り外す。



### スパークプラグの取り外し

プラグキャップを引っ張って外します。必ずキャップ部分を持って引っ張って下さい。スパークプラグを取り外します。

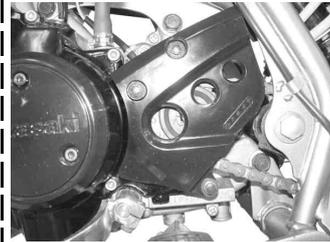


### オルタネータカバーの取り外し

オイルパン等を用意し、オイルフィルターキャップとエンジンオイルドレンプラグボルトを取り外してオイルを抜き取る。



ボルト3本を取り外し、スプロケットカバーを取り外す。



シフトペダルを取り外す。



オルタネータカバーからのコネクタを外す。



ボルト9本を取り外し、ジェネレーターカバーを取り外す。ロックピンは再使用するので取り外しておく。

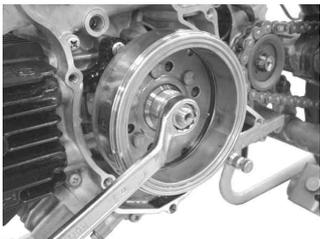


ガスケットがクランクケースに残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除いておく。キズをつけないように注意。

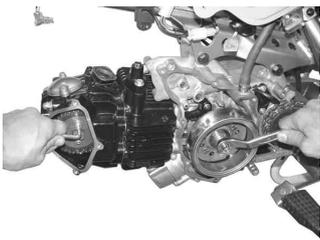
カムスプロケットの取り外し  
ボルト4本を取り外し、カムスプロケットカバーを取り外す。



フライホイールを反時計方向に回し、カムスプロケットの“T”マークをシリンダーヘッドの突起に合わせる。



フライホイールを保持し、カムスプロケットのボルト2本を取り外す。



カムスプロケットを取り外す。シリンダーのカムチェーンテンショナーのボルトを取り外しておく。

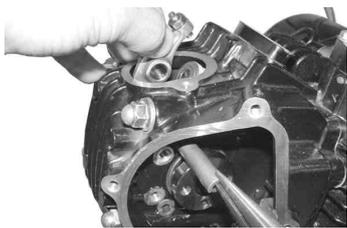
2本のボルトを取り外し、カムチェーンテンショナーを取り外す。

### ロッカーアームとカムシャフトの取り外し

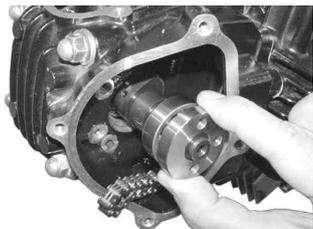
ボルト2本を取り外し、バルブアジャスティングカバーIN側、EX側を取り外す。スクリュー2本を取り外し、ロッカーアームシャフトストッパを取り外す。



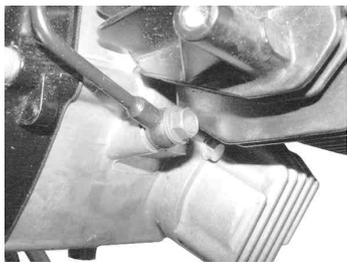
ロッカーアームを手で持ち、ロッカーアームシャフトを引き抜いてIN側、EX側のロッカーアームを取り外す。



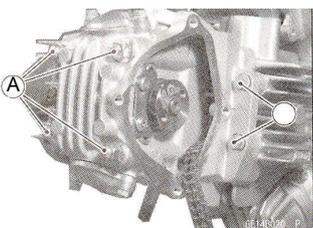
カムシャフトを抜き取る。無理に引っ張らないこと。



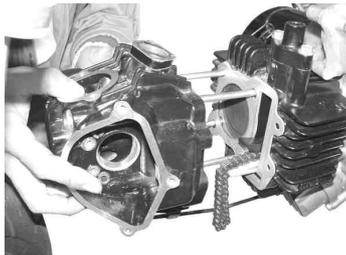
シリンダーヘッドの取り外し  
オイルパイプ取り付けスクリューと、クランクケース側、シリンダーヘッド側のバンジョーボルトを取り外し、オイルパイプを取り外す。



ヘッドボルト2本を取り外す。ヘッドナット4個を対角に数回に分けてゆるめ、取り外す。



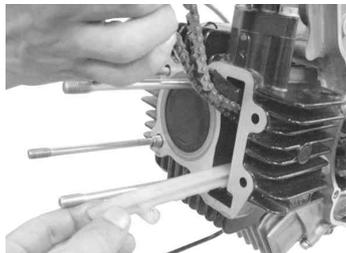
シリンダーヘッドを引っ張って取り外す。(かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。)



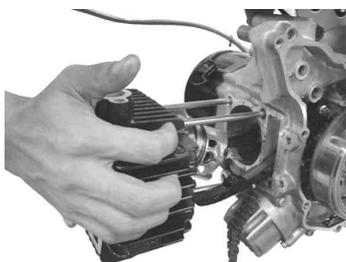
ノックピン2個は、再使用するので取り外しておく。

### シリンダの取り外し

ロアカムチェーンガイドを取り外す。



シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。)



ノックピン2個は、再使用するので取り外しておく。

シリンダーが外れた後、ゴミや部品が入らないようにウエス等をクランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールに詰め込む。ガスケットがクランクケースに残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除いておく。キズをつけないように注意。

### ピストンの取り外し

ピストンピンサークリップの片側を取り外す。

ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじると外れやすい。



サークリップを取り外した方へピストンピンをドライバー等で押して外し、ピストンを外す。

### 確認

キットのシリンダーはノーマルクランクケースの個体差により、スリーブのクランクケース挿入部が干渉する場合がある。干渉する場合、ノーマルクランクケースの修正を行うこと。

### 修正要領

1. シリンダーをクランクケースにノックピンで位置決めし、取り付けてみる。クランクケースの干渉位置を把握する。
2. クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰める。
3. ヤスリ、リユーター等を用いて削る。削りすぎないように少しずつ削る。
4. 削り粉がクランクケース内に入らないように、慎重にウエスを取り除く。

クランクケース干渉部の修正が出来るまで、1～4の作業を繰り返す。削りすぎを防ぐため、少しずつ行うこと。

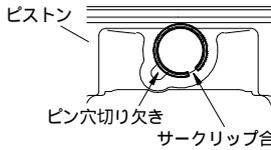
## S-ステージKITの 取り付け

### ピストンの取り付け

ピストンのピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付ける。



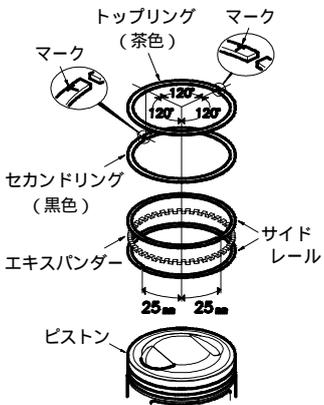
ピストンピンサークリップの合口は切り欠き部を避けて取り付けること。



ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来る。

押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けること。

図を参考にしてピストンリングを取り付ける。エキスパンダー、サイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。



ピストンピン、ピストンピン穴、コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布する。ピストン頂面の“EX”文字が、下(排気側)になるようにピストンを取り付ける。

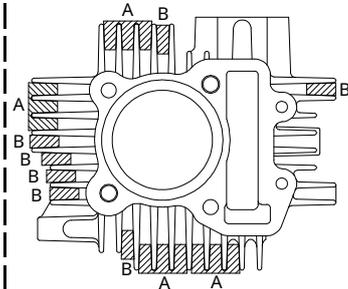


付属のピストンピンサークリップを取り付ける。

### シリンダ の取り付け

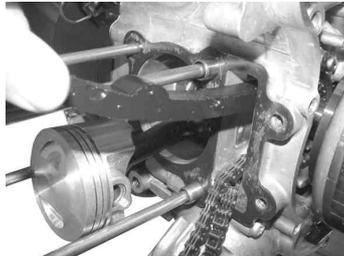
シリンダー冷却フィンの間に、キット内のシリンダーダンパーA、Bを図の場所に奥まできっちり入る様取り付けます。

(シリンダー冷却フィン共振音低下の為取り付けます。)



詰めていたウエスを取り外す。クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂し、きれいにする。

ロックピン2個とシリンダガスケットをクランクケースに取り付ける。

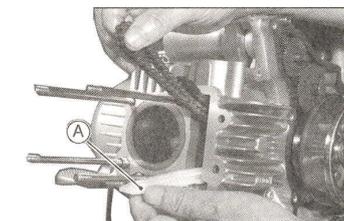


シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、均等に薄く塗り広げる。ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布する。



シリンダーをピストンリングの合口口の位置がずれないように指で少しずつピストンにはめていき、シリンダーをクランクケースにはめ込む。シリンダーがピストンにはまったら、カムチェーンをシリンダーに通しておく。

ロアカムチェーンガイドをシリンダーとクランクケースの溝にしっかりとめ込む。



### シリンダ ヘッドの取り付け

シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂し、ロックピン2個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付ける。

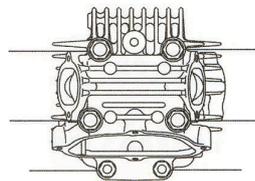
カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。

ヘッドナット4個、ヘッドボルト2本を仮止めしておき、対角線状になるように数回に分けて締め付ける。

規定トルク

ヘッドボルト：12 N・m  
(1.2 kgf・m)

ヘッドナット：22 N・m  
(2.2 kgf・m)

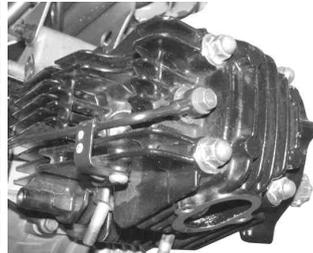


オイルパイプを取り付けスクリューと、バンジョーボルトで取り付ける。

規定トルク

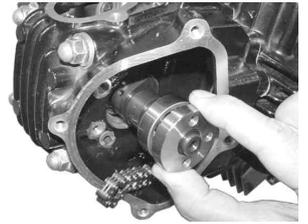
スクリュー：5.2 N・m  
(0.53 kgf・m)

バンジョーボルト：15 N・m  
(1.5 kgf・m)

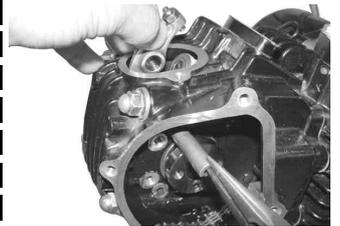


### カムシャフトとロッカーアームの取り付け

キットのカムシャフトをシリンダーヘッドに取り付ける。



ロッカーアームを手で持ち、ロッカーアームシャフトをシリンダーヘッドに差し込み、取り付ける。



ロッカーアームシャフトストッパをスクリュー2本で取り付ける。

規定トルク 5.2 N・m

(0.53 kgf・m)



### カムスプロケットの取り付け

フライホイールの“T”マークがクランクケースの合わせマークに合っているか確認する。

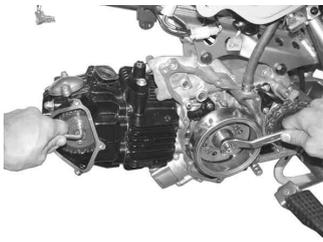


カムスプロケットの“T”マークがシリンダーヘッドの突起に合うようにカムチェーンを取り付ける。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込む。



カムシャフトスプロケットの穴にカムシャフトのネジ穴を合わせ、スクリュー2本を取り付ける。

規定トルク  $12\text{ N}\cdot\text{m}$   
( $1.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )



カムシャフトチェーンテンショナーのプッシュロッドがロックしているか確認する。

シリンダーにカムシャフトチェーンテンショナーを取り付ける。

規定トルク  $12\text{ N}\cdot\text{m}$   
( $1.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )

カムシャフトチェーンテンショナーのストッパを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除する。キャップボルトを取り付ける。

規定トルク  
キャップボルト:  $5.2\text{ N}\cdot\text{m}$   
( $0.53\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )



### バルブクリアランスの調整

フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークを合わせ、カムスプロケットの“ ”マークがシリンダーヘッドの突起に合っているか確認する。

アジャストスクリューとバルブステムの間にシックネスゲージを差し込み、引き抜くときに少し抵抗があるぐらいに合わせ、アジャストスクリューを固定してナットを締め付けます。

バルブクリアランス  
: I N、EX共に  $0.04$   
~  $0.08\text{ mm}$

規定トルク  $8.8\text{ N}\cdot\text{m}$   
( $0.9\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )

クランクシャフトを反時計方向に2回転まわし、バルブ隙間が変化していないか確認する。隙間が変化している場合は再度調整する。この作業を合うまで繰り返す。

カムシャフトスプロケットカバーをボルト4本で取り付ける。

規定トルク  $5.2\text{ N}\cdot\text{m}$   
( $0.53\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )



ボルト2本を取り外し、バルブアジャスティングカバー I N側、EX側をそれぞれボルト2本で取り付ける。

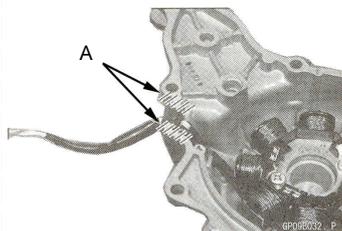
規定トルク  $5.2\text{ N}\cdot\text{m}$   
( $0.53\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )



### ジェネレーターカバーの取り付け

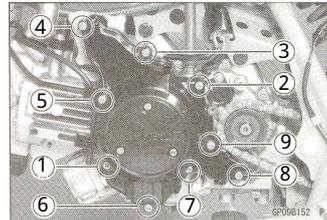
ジェネレーターカバーとクランクケースの合せ面をシンナー等で脱脂し、ノックピン2個とガスケットを取り付ける。

ジェネレーターカバーの配線のグロメット部に液体ガスケットを塗布する。

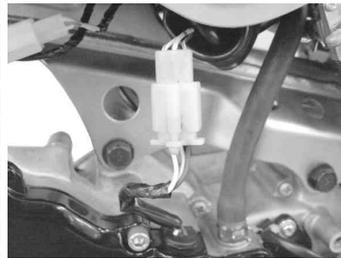


ジェネレーターカバーを取り付け、ボルト9本を仮止めする。それぞれのボルトを番号順に数回に分けて本締めする。

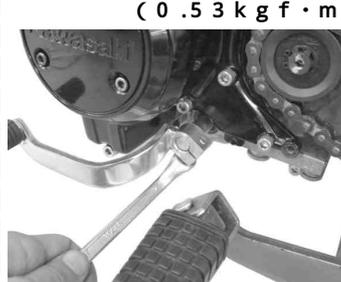
規定トルク  $5.2\text{ N}\cdot\text{m}$   
( $0.53\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )



ジェネレーターカバーからのコネクタを接続する。



シフトペダルを取り付ける。  
規定トルク  $5.2\text{ N}\cdot\text{m}$   
( $0.53\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )



エンジンオイルドレンプラグボルトとガスケットを取り付ける。

規定トルク  $29\text{ N}\cdot\text{m}$   
( $3.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )



エンジンオイルを規定量入れ、オイルフィルターキャップを取り付ける。

エンジンオイル規定量  $0.9\text{ L}$   
(オイルフィルターを取り外さない場合)

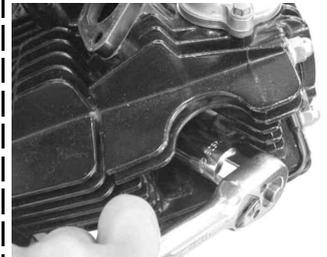


### スパークプラグの取り付け

スパークプラグをまず手で締め込む。

プラグレンチを用いて締め付ける。

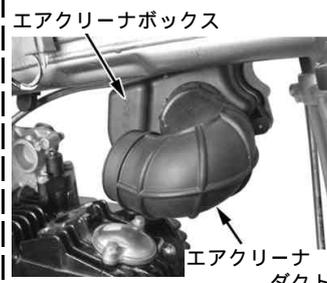
規定トルク  $13\text{ N}\cdot\text{m}$   
( $1.3\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )



スパークプラグキャップを取り付ける。

### キャブレターの取り付け

エアクリーナダクトをエアクリーナボックスから取り外す。



スクリュー2本を取り外し、スロットルハウジングのカバーを取り外す。

インナーケーブルの接続を外し、スロットルケーブルのアジャスターを回して、スロットルハウジングから取り外す。

キット内のスロットルケーブルをスロットルハウジングに、アジャスターを回して取り付け、インナーケーブルをスロットルリールに接続する。

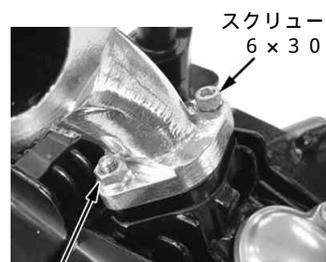
スロットルハウジングのカバーをスクリュー2本で取り付ける。シリンダーヘッドにスタッドボルトを取り付ける。



スタッドボルト

シリンダーヘッドとインレットパイプの間にガスケット、ノーマルインシュレーター、ガスケットの順にはさみ、ソケットキャップスクリュー6×30とフランジナット6mmを締め付ける。インシュレーターをインレットパイプにソケットキャップスクリュー6×15 2本で取り付ける。

規定トルク：10N・m  
(1.0kgf・m)



フランジナット 6mm



キャブレタをインシュレーターに差し込み、バンドを締め付けて固定する。

キャブレタのトップキャップを外し、スプリング、ニードルクリップリテーナー、スロットルバルブを抜き取る。

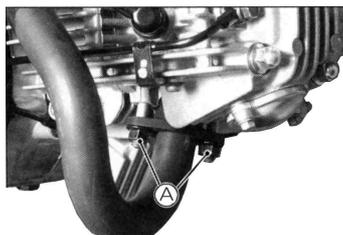
スロットルケーブルにトップキャップ、スプリング、スロットルバルブを取り付け、ニードルクリップリテーナーを取り付ける。

スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付ける。

スロットルグリップ部で5mm程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャスターを調整する。スロットルを数回スナップさせ、スロットルバルブの開閉状態を確認する。クランクケースからのブローバイガスの処理は各自で行う。

### エキゾーストマフラーの取り付け

エキゾーストマフラーをエキゾーストパイプホルダナット2個とマフラー取り付けボルト1本でまず仮止めする。



ナット2個とボルト2本を締め付ける。

規定トルク  
ナット：14N・m  
(1.4kgf・m)  
ボルト：14N・m  
(1.4kgf・m)

エンジンガードを取り付ける。

### 外装部品の取り付け

2本のスクリューでシートカウルを取り付ける。

規定トルク 5.2N・m  
(0.53kgf・m)



3本のスクリューで右シュラウドを取り付ける。

規定トルク 5.2N・m  
(0.53kgf・m)



### 走行前の注意

#### 使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

#### 各部の点検

各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いを確認します。

エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。

風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し暖気運転させます。

エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれが無い点検して下さい。

エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いが再度点検して下さい。

### SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069  
大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
TEL 0721-25-1357  
FAX 0721-24-5059  
URL <http://www.takegawa.co.jp>